



① ボランティアは買い物送迎の日に合わせて、自分の買い物もしている。買い物のついでに送迎をしている感覚のため負担が少ない
② 現地では各自で買い物へ出発。終了後は休憩所に集まり、利用者同士でおしゃべりをして楽しむ
③ 毎月第3火曜日の買い物送迎の場所となるイオン前沢店



Chapter 4

「買い物送迎」 第14区×買い物困難者

地域による助け合い。
地域のボランティアと協力して、
高齢者の買い物を支援する。

増え続ける「買い物困難者」

「買い物困難者」という言葉を聞いたことはあるだろうか。住んでいる地域で日常に必要な買い物をすることに困難を感じている人のことである。

近年、食料品や日用品などを扱う身近な商店やスーパーマーケットの閉店、流通機能や交通網の弱体化、高齢のため運転免許証を返納し自動車の運転ができないなど、さまざまな理由で買い物に不自由を感じている買い物困難者の増加が全国的に大きな問題となっている。商店が少なく、車社会の当町においても例外ではなく、買い物困難者問題への対策は町の重要な課題のひとつである。

買い物へ無料送迎を開始

買い物困難者が増えていく状況の中、買い物困難者を支援しようと第14区の地域住民有志が、平成28年5月から地域の高齢者を対象に無料送迎車の運行を始めた。送迎車を運行するのは第14区長と民生児童委員、地域住民の有志8人を中心としたボランティアだ。毎月第1火曜日には平泉字高田にあるジョイス平泉店、第3火曜日には奥州市前沢区にあるイオン前沢店ま

での道のりをメンバーが所有する軽自動車や普通車5台を使用して1往復している。

買い物送迎は、第14区長の小野寺安夫さんが地区の高齢者から「運転免許証を返納したため、買い物などで外出する際の交通手段がない」と相談を受けたことがきっかけで始まった。その後運行に向けた準備を民生児童委員や地域住民有志との間で進め、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などに声を掛けていき、現在では80〜90代の女性を中心に毎回15人前後が送迎車を利用するようになった。

小野寺区長は「買い物送迎は、ボランティアの皆さんの力に支えられて実施できている。本当にありがたい」と協力してくれているボランティアへの感謝の言葉を口にしている。

12月の買い物送迎の日程について

12月の買い物送迎を下記の日程で行いたいと思います。

12月 5日 (火)	午前10:00~12:00
お買い物のおと「道の駅平泉」で昼食会を行います。	
12月 19日 (火)	午前10:00~12:00

皆さん気軽にご参加下さい

毎月利用者に日程表を配布している

高齢者が暮らしやすい環境へ

買い物送迎車の乗降場は14区公民館前となる。公民館前に集合し、午前10時ごろに商業施設へ向けて出発。買い物時間として1時間程度、アイスや大判焼きなどを食べながら利用者同士の懇談時間として30分程度を取り、正午ごろに帰途に就く。

利用者からは「店舗までの交通手段がなかったので助かった」「食料品などを買うと荷物が重くなるのでありがたい」「みんなでわいわい話をしながら買い物できて楽しい」と喜ばれており、取り組みに対する満足度は高い。またそれを支えるボランティアは「初めは心配でしたが特に問題はありませんでした。そばにいななくても一人で買い物はできるし、集合時間になれば集まってきてくれる。地域で困っている人たちの役に立ててうれしいです」と笑顔を見せる。

買い物困難者支援は、行政や民間企業だけでは対応が難しく、地域住民が自分たちの地域を住みやすくするために、自らが取り組むことも必要となる。第14区では買い物困難者支援を地域全体の課題と捉え、高齢者が暮らしやすい環境づくりに向けて取り組んでいる。

Interview

今後の町の買い物困難者(交通困難者)問題への対策とは一。



まちづくり推進課
Yaegashi Tadao
八重樫忠郎
課長

「足」の確保は喫緊の課題

買い物に限らず通院などを含めた高齢者の「足」(交通)の確保は、今後も進む高齢化社会においては、喫緊の課題と言えます。

当課では、関係各課と意見交換を行い、現在運行している患者送迎バスの路線拡大や運行日の増加、また商店などの民間事業者との連携による送迎システムの確立、さらにはバス路線の拡大などを検討・模索しています。



④ 利用者同士の楽しい会話に思わず笑顔がこぼれる
⑤ 買い物送迎は、多くの人が集まるため地域内の情報交換、高齢者の健康チェックや独居世帯の安否確認などにもつながっている
⑥ 近所の人が顔を合わせることで地域のつながりが深くなっていく。買い物だけでなく、人と人との出会いの場にもなっている

